

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
津山市まちづくりパワーアップ地区

令和5年7月

岡山県津山市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	人口の年間社会動態	人/年	-6	2	20	確定 見込み	○	○	あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街地におけるアパート・マンション建設などの不動産開発により、地域の転入者が増加した。
指標2	歩行者自転車通行量	人/年	6,812	7,500	9,347	確定 見込み	○	○	あり なし		R 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市内の回遊性向上政策により、歩行者自転車の通行量の底上げを果たした。
指標3	歴史文化関連施設利用者数	人/年	272,493	304,000	185,422	確定 見込み	○	×	あり なし	○	R5年3月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	新型コロナウイルス感染症の影響も薄まりもあって、事業実施による回遊性向上の効果を発揮し、施設利用者数の向上を果たした。
指標4	JR津山駅の乗降客数	人/日	3,962	4,100	3,058	確定 見込み	○	×	あり なし	○	R5年3月	×	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標達成には至らなかったが、事業実施により事後評価時点より増加し、利用者の減少に一定の歯止めがかかっている。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	津山駅周辺 放置自転車撤去台数	台	126	/	60	確定 見込み	○	/	/	64	R5年3月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値より増加しているが、津山駅北口駐輪場の整備効果により放置自転車を抑制している。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	広域交通拠点施設の維持・拡大	・津山駅北口広場施設利用者の増加のためのSNS発信	・施設利用に関する問い合わせがあった。	・今後は施設の周知に加え催しやイベント情報の提供する。
	歴史・文化資源を活かした観光振興	・観光案内所(デジタルサイネージ)の設置	・観光地案内機能などによる快適性が向上した。	・交通観光案内所との連携を強化し情報発信と市内への周遊を図る。
	地域防災機能の強化	・下記、観光駐車場へ地域防災機能を盛り込む検討を行っている。	・立地状況や周辺住民を考慮し、必要な防災機能を選定する必要がある。	・地域へ提供する防災情報の充実を図る。 ・防災施設の多言語対応による外国人旅行者の被災防止策の検討。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	観光用駐車場の整備	・地域防災機能などを備えた観光客の利用できる駐車場整備に向けた基本的な検討を実施している。	・都市再生整備計画関連事業などの国補助の活用を念頭にした庁内検討を引き続き進める。	・庁内はもとより地権者、関係機関との協力・合意を形成する必要がある。 ・整備後の人流集中による渋滞発生に対して、いかに抑制を図るかが課題である。(オーバーツーリズム対策)

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
オーバーツーリズムへの対応	・行楽地周辺の渋滞に対応する道路整備の検討	R5年度	・庁内で協議・連携を図り、関係機関との協力体制を整える必要がある。

都市再生整備計画

津山市まちづくりパワーアップ地区

第 4 回 変 更

岡山県 津山市

令和3年12月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	
都市再生整備計画事業	
まちなかウォークブル推進事業	

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-

都道府県名	岡山県	市町村名	つやまし 津山市	地区名	つやまし 津山市まちづくりパワーアップ地区	面積	141 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 令和 3 年度				

<p>目標</p> <p>大目標: 交流拠点など都市機能の強化による賑わいのまちづくり</p> <p>目標1 県北の中心都市としての拠点性向上を目指したまちづくりを推進する。</p> <p>目標2 誰もが安心して住みつけられるまちづくりを推進する。</p> <p>目標3 津山の特色ある歴史遺産等を活かしたまちづくりを推進する。</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) 都市構造再編集支援事業の場合に記載すること、それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>本市は、これまで高度成長期を経て市街地が拡大し、郊外の丘陵地や農地においても宅地開発が進むなど、都市のスプロール化が進んできました。本格的な人口減少、少子高齢社会の到来による社会環境の変化に的確に対応するためには、これまでの拡大型の都市構造から、コンパクトでまとまりのある都市構造への転換を一層進める必要があります。</p> <p>持続可能なまちづくりをめざし、都市機能の集約化や生活サービス機能の持続向上を図るとともに、地域資源や特性を活かしつつ、各地域の拠点を中心として、相互に連携・補完することができる多極型連携型のまちづくりに取り組みます。</p> <p>県北の中心都市としてふさわしい多様な都市機能や公共施設などが集積し、地域連携・交流を支えるとともに、広域的な機能を有する本市全体の中心拠点と支所や出張所周辺の生活関連施設や公共施設などが集積する地域生活拠点を設定し、これらを相互に連絡する交通や情報などのネットワークにより、市全体での連携・交流を図ります。</p> <p>過疎化が進行する中山間地域などにおいては、公民館や小学校区等を単位として、生活環境やコミュニティを持続するため地域活動や交流の拠点を推進し、地域の活力を維持するとともに、これらの小さな拠点や周辺集落、地域生活拠点をつなぐ移動手段を確保することにより、安心して暮らし続けられる地域生活圏の形成を図ります。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>津山市は、城下町特有の都市構造を今に残し、津山城跡など歴史的価値の高い建造物など、築城以来の多くの歴史的建造物や近代化遺産が、中心市街地を中心に広く分布し、歴史的な資源や伝統文化が保存・継承され、これらが相まって「津山らしさ」を醸し出している。岡山県観光地別観光客数によると、津山・鶴山公園地区(津山城跡)の観光客数は平成17年に約59万人であったのに対し、中心市街地再生地区(H16-H20)、城東周辺地区(H21-H23)、中心市街地再生地区(H24-H28)の都市再生整備計画事業や関連事業、B-1グランプリ「津山ホルモンうどん」等の効果により、平成26年には約118万人に増加している。</p> <p>本地区は県北地域の中心都市であるが、中心市街地地区の人口は減少しており、空き家や空き店舗の増加など、中心市街地の求心力の低下や経済活動の空洞化等の問題を抱えている。この問題を解決するために、平成25年度から「津山市中心市街地活性化基本計画」を策定し、官民一体となって活性化に取り組んでおり、中心市街地再生地区都市再生整備計画事業(H24-H28)により、「津山駅北口広場」や防災機能を備えた「井口公園」整備等、都市基盤や公共公益施設を整備した結果、人口の年間社会動態の減少傾向に改善の兆しが見えているが、中心部の人の往来(歩行者自転車通行量)は依然減少傾向にある。</p> <p>そこで、JR津山駅周辺の整備や、既存施設の改修等により、県北地域の中心都市として、更なる広域交流拠点の形成を図るとともに、JR津山駅周辺にある、扇形機関庫(津山まなびの鉄道館)など既存ストック等を生かした賑わいのあるまちづくりを推進することが重要となっている。</p>
<p>課題</p> <p>人口が減少し、少子高齢化が進展する中で、人の往来を増やし中心市街地の求心力の向上を図り、持続可能な都市経営を営むために、都市基盤や公共公益施設などの整備をするともに、有効活用を図り、高密度でコンパクトな都市づくりを図ることが課題である。</p> <p>県北地域の中心都市としての広域交流拠点を形成するため、都市機能の集積や整備等の取り組みが必要である。</p> <p>中心市街地の再構築等による利便性・快適性の向上による魅力的な都市づくりが必要である。</p> <p>歴史・近代化遺産等の既存ストック等による賑わいの創出が必要である。</p>
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>津山市第5次総合計画 基本構想(平成27年9月)</p> <p>彩りあふれる花開く 津山の創造 … 市民一人ひとりの想いがかなう 夢と希望の花が咲き誇るまち</p> <p>開花プログラム1: 子育て環境の充実と人と文化を育むまちづくり</p> <p>開花プログラム2: 健やかで安心できる支え合いのまちづくり</p> <p>開花プログラム3: 雇用の創出とにぎわいのあるまちづくり</p> <p>開花プログラム4: 豊かな自然環境の保全と快適に暮らせるまちづくり</p> <p>開花プログラム5: 災害への備えと都市機能の充実したまちづくり</p> <p>持続可能なまちづくりを目指し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方にに基づき、都市機能の集約化や生活サービス機能の維持向上を図るとともに、地域資源や特性を活かしつつ、各地域の拠点を中心として、相互に連携・補完することができる「多極連携型のまちづくり」に取り組むこととしている。</p>

<p>都市構造再編集中支援事業の計画 都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>都市機能配置の考え方 ・居住機能や医療・福祉等の都市機能を誘導する地域をあらかじめ明示することで将来の都市像を明確にし、インセンティブを講じることで、公共施設のみではなく住宅及び医療・福祉・商業等の民間の施設も対象としてその誘導を図り、コンパクトシティの形成を目指す。 ・コンパクトシティの形成においては、居住機能や都市機能を誘導する区域や、誘導する都市機能などを設定し、民間の投資や、居住を効果的に誘導する施策を講じます。 ・公共交通ネットワークにおいては、中心市街地における回遊性の向上や、郊外地域から中心市街地へのアクセス性の維持及び向上を図ることで、市民の移動利便性を確保します。</p>	
<p>都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方 誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>・長年にわたり蓄積された既存ストックや公共交通を活かす、空き家・空き店舗の利活用、中心部における高密度居住の推進、中心市街地の空洞化の改善などによる多様なニーズに応えられる県北の中心拠点にふさわしい活力ある市街地形成 ・まとまりのある市街地では都市機能の維持・集積による高齢者や子育て世代も安心して暮らせる便利で快適な市街地の形成 ・津山駅周辺の商業業務地では一体として市街地開発事業の促進</p>	
<p>都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等</p>	

目標を定量化する指標							
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
人口の年間社会動態	人/年	人口社会動態(転入・転出)を住民基本台帳から把握する。	まちづくりの推進により、暮らしやすさ、住みつけたいと感じれば、必然的に人口の社会動態の減少傾向は改善され、増加を見込む。	-6	平成27年度	2	令和3年度
歩行者自転車通行量	人/日	定期観測している歩行者及び自転車(10地点)の1日当たりの通行量を把握する。	中心部の拠点性の向上により、人の往来が集う賑わいを示す指標となり、事業により通行量の増加を見込む。	6,812	平成27年度	7,500	令和3年度
歴史文化関連施設利用者数	人/年	経年観測している歴史文化施設(9施設)の年間利用者数を把握する。	歴史文化資源を活かしたまちづくりにより、施設の利用者の増加を見込む。	272,493	平成27年度	304,000	令和3年度
JR津山駅の乗降客数	人/日	JR津山駅の乗降客数をJR西日本岡山支社の社内データの提供を受け、把握する。	駅周辺の整備による利便性・快適性の向上により、JR津山駅の乗降客の増加を見込む。	3,962	平成27年度	4,100	令和3年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】人が集い賑わいを感じる「まち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域交通拠点である津山駅周辺を整備し、利便性・快適性の向上を図る。 ・中心市街地を再構築し、利便性・快適性の向上を図る。 ・観光客などの訪問者に対し、魅力的な都市機能の向上を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道路」市道B080号線、市道H080号線 「公園」山下児童公園 「地域生活基盤施設(駐輪場)」津山駅北口広場駐輪場 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域創造支援事業、道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館 「まちづくり活動支援事業、城下地区まちづくり再生支援事業、旧出雲街道賑わい再生支援事業
<p>【整備方針2】人が暮らしやすいと感じる「まち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市施設の拡充により、魅力的な都市づくりを促進させる。 ・中心市街地を再構築し、利便性・快適性の向上を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公園」山下児童公園 「既存建物活用事業(高次都市施設)」津山文化センター <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域創造支援事業、道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館
<p>【整備方針3】歴史文化を感じる「まち」、楽しむ「まち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客が津山の歴史文化を気楽に感じ楽しめる都市づくりを推進させる。 ・歴史文化施設の拡充により、魅力的な都市づくりを促進させる。 ・憩い・安らぎ空間を確保し、自然と共生する都市づくりを促進させる。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「公園」山下児童公園 「既存建物活用事業(高次都市施設)」津山文化センター <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域創造支援事業、道路側溝整備事業、津山駅前にぎわい交流館
<p>その他</p>	
<p>○交付期間中の住民参加</p> <p>現在、吉井川南岸地区においては、周辺町内会及び関係商店街を中心とする「津山駅周辺の街づくりのあり方を考える」住民の会(以下「住民の会」という。)を地元が組織している。住民の会を中心として、市民参加型の津山駅周辺の整備に向けた具体的な計画策定を進めている。将来に渡って持続的にまちづくりを推進するため、組織体の連携強化を図る検討を進めている。</p> <p>また、中心市街地活性化基本計画のエリア内では、関係町内会及び関係機関で組織する「津山市中心市街地活性化協議会(以下「協議会」という。)を組織している。協議会を中心として、中心市街地の賑わいの整備に向けた具体的な計画策定を進めている。将来に渡って持続的にまちづくりを推進するため、組織体の連携強化を図る検討を進めている。</p> <p>なお、本地区において、美術館整備を予定しており、関係団体を中心とする「美術館構想審議会」を市の付属機関として組織している。実施に当たっては、市民参加型の審議会に拡充再編し、具体的な計画策定を進めていく。</p> <p>○交付期間中の計画管理について</p> <p>現在、庁内内部の関係部局による横断的な組織として「津山駅周辺地区整備検討会」を組織し、計画立案を行っている。交付期間中における事業実施、調整及び目標達成過程の数値確認については、その組織を改変し、「計画管理委員会」とし、対応を図る。また、関係外部組織との連携によるモニタリングを実施し、円滑な事業推進を図る。なお、これらの事業実施状況や数値目標の達成状況、モニタリングの結果などについては、市のホームページ等を利用し、随時市民に公表する。</p>	

